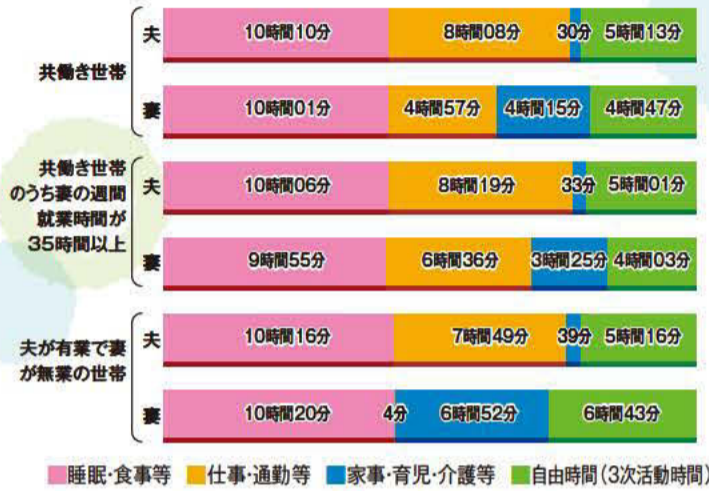


あしおかせ

気づき+発見からはじまる 男女共同参画

I 夫婦の生活時間

男性の家事・育児・介護等に関する時間は、妻の就業状況に関わらず30分程度と非常に短くなっています。

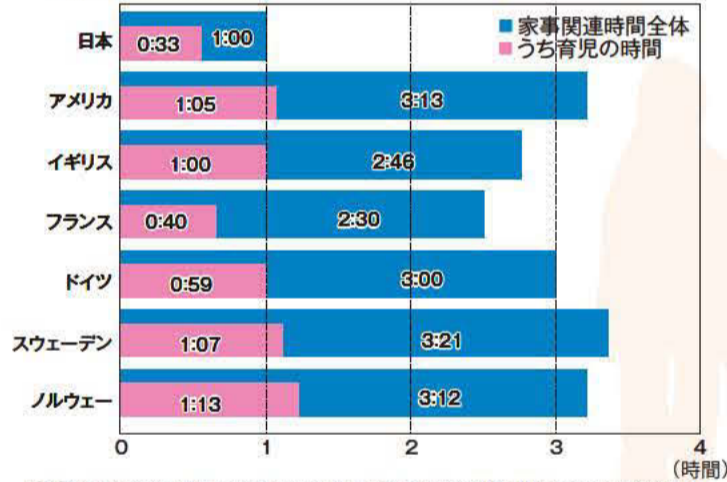


■睡眠・食事等 ■仕事・通勤等 ■家事・育児・介護等 ■自由時間(3次活動時間)
参考:総務省「社会生活基本調査」(平成18年)より作成。

II 育児期にある夫の1日あたりの家事、育児時間の国際比較

我が国の男性の家事・育児に費やす時間は、世界的にみても最低の水準です。

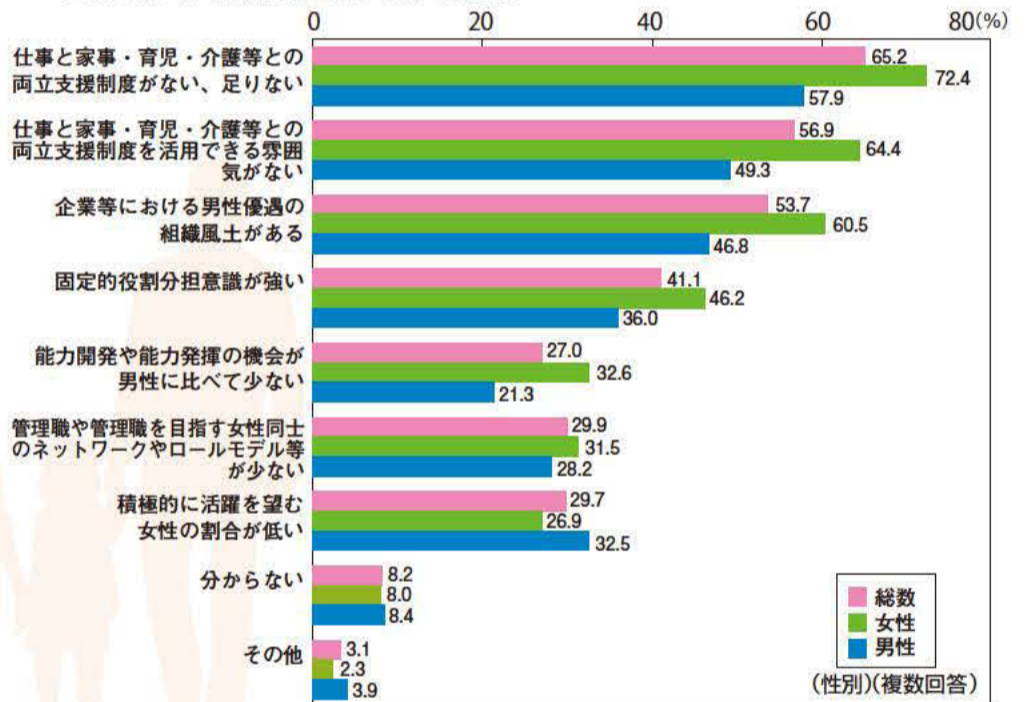
6歳未満児のいる夫の家事、育児時間(1日あたり)



参考: 1 Eurostat「How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men」(2004).
Bureau of Labor Statistics of the U.S.「America Time-Use Summary」(2006)及び総務省「社会生活基本調査」(平成18年)より作成。
2 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の時間である。

III 我が国における男女共同参画が国際的に遅れている理由

「仕事と家事・育児・介護等との両立支援制度がない、足りない」または「その制度を活用できる雰囲気がない」と考えている女性の割合が多くなっています。



(備考)内閣府「男女のライフスタイルに関する意識調査」(平成21年)より作成。

出典 I・II 平成24年度版「ひとりひとりが幸せな社会のために」内閣府男女共同参画局 / III 平成21年度版「男女共同参画白書」内閣府男女共同参画局

「かざぐるま」

お話し会 毎週土曜日
朗読会 毎月第一土曜日担当
焼津図書館にて

その他、大人向け朗読会、小泉八雲記念館での子供向けお話し会も行っています。

メンバー募集中
老若男女問わず!!
活動日:毎週金曜日14:00~
連絡先:代表 西岡いつ子
054-620-4811



☆来春の「こどものついで」では初めて、人間劇に挑戦します。演目は「幸せの王子」。西岡さんが脚本を書き、声の出演では男性の参加もあるとか。長いセリフまわしや衣装作りなど、成功に向けて一生懸命練習に励んでいます。皆さんも是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

平成25年3月9日(土) こどものついで(焼津図書館主催)に参加予定
「幸せの王子」オスカー・ワイルド作 会場:焼津文化会館

最後に「読み聞かせをする時に一番大切なことは」と伺うと、「子どもにも体をくっつけて読んであげること。子どもは体温を感じることで、親の愛情を感じ、安心してお話の世界に集中できるのでは」と教えてくれました。ぜひ家族で読み聞かせを!

「かざぐるま」は絵本の読み聞かせを中心に、紙芝居、人形劇等を行うグループです。昭和52年、自分の子どもにも読み聞かせをしてほしいお母さんたちが集まり、「カッチン玉」というグループ名で活動をスタート。当初は、図書館(現在の産業会館)の廊下にござを敷いて臨時の読み聞かせコーナーを作り、自分たちの子どもを抱えながら読んでいたそうです。

現在のメンバーは50代~60代までの女性10名。活動開始から35年が経ちました。今も昔も、子どもたちは変わらず熱心にお話を聞いてくれるそうです。また、昔おはなし会に来ていた子どもがお母さんになり、自分の子どもを連れて来てくれたり、最近ではお父さんの参加も増えてきました。「親子で嬉しそうに聞いている様子を見ると、人に喜んでもらうだけでなく、自分もいろいろ貰っている感じがします。」とメンバーの一人が語ってくれました。

週1回行われる練習は、ストレッチや軽い筋トレから始まり、それに引続き行われる発声練習まで丁寧に行います。読み聞かせの練習では細かな感情表現にも真剣に取り組みます。「こちらの表現力によって、聞き手が本を好きになっくれるかが決まるのです。そのためにも技術は必要」と西岡さんは力強く語ります。メンバーからは「何でも言い合え、自分の表現にはつきりと意見してくれる大切な仲間です」といった声も。高い意識で練習を重ね、緊張感を持って臨む本番だからこそ、世代を超え、みんながお話の世界に夢中になるのかもしれない。

グループ紹介 第18回

朗読グループ「かざぐるま」

